THE ROTARY CLUB OF KITAMI

Rotary

R. I. DISTRICT 2500 JAPAN

北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月19日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス https://www.kitamirc.jp

2025~2026年度国際ロータリーテーマ

UNITE FOR GOOD

R.I. 会長 フランチェスコ・アレッツォ

第 3521 回例会・2025 年9月 24 日

本日のプログラム

新人卓話

「建築で地域をつくる ~建築の設計監理とは~」

株式会社 エヌ・ケー建築設計室
代表取締役 中川 勝一 会員

第3520回例会（9月19日）の記録

ロータリーソング 奉仕の理想

「ガバナー公式訪問例会」

会長挨拶 近藤 裕（北見東ロータリークラブ 会長）

本日は、佐渡ガバナーはじめ地区の皆様、北見まで来ていただきまして本当に感謝いたします。また、ご多忙中にも関わらず、多数のメンバーの方に例会に出席いただき感謝申し上げます。この後、佐渡ガバナーから貴重な時間をいただいて、私達ロータリアンが目指すべき、大切な指針となるお話をいただきます。この例会を迎えられたのも、日頃からクラブ活動にご尽力いただいている皆様のおかげであり、改めて感謝申し上げます。本日の例会が実り多きものになるよう、更なる飛躍の機会となりますよう、佐渡ガバナーのお話をしっかり聞いて、心に刻んで実り多い時間にしたいと思います。最後までごゆっくり、よろしくお願いいたします。

バナー交換

幹事報告 髙橋 一徳（北見東ロータリークラブ 幹事）

本日は、ガバナー公式訪問例会に142名の皆様にお集まりいただきました。本当にありがとうございます。

講 話

「私のロータリー観について」

国際ロータリー第2500地区 佐渡 正幸 ガバナー

今日は、30分程の時間をお借りして、自己紹介、今年度の地区の活動方針、特に重点目標について、また私のロータリーに対する考え方も併せてお話をさせていただきます。

私は本年度で58歳、日本の34地区のガバナーの中では下から数えて３番目の若さであります。釧路市内にて司法書士として30年の経験を持っています。それでは、地区のスローガンであります「Rotaryのことを熱く語ろう！～Rotarian Benefitsを紡ぎ、そして育むために～」についてご説明させていただきます。コロナ禍を経て一堂に会して語り合う時間を持てるようになり、それぞれのクラブの中においてロータリーのことを熱く語っていただきたいという思いがあります。そして、個々のロータリアンが経験したベネフィット（恩恵）を紡いでいただいて、クラブの活性化に努めていただきたいと思います。今回の重点目標につきましては、会員増強、ファンドレイジング、ポリオ根絶活動、青少年の奉仕を掲げております。まずは最重要目標である会員増強について、過去30年で1,000名減少した会員数を危惧し、会員数が1,200名を下回るとその地区が消滅してしまうリスクを鑑み、地区内会員数2,500名という目標を設定しました。ファンドレイジングについては、年次寄付150ドル/人、ポリオ根絶50ドル/人、米山奨学生6,000円/人という非常に高い水準でありますが、世界の平和に我々の活動が繋がっている事をご理解いただきたいと思います。次にポリオ根絶について、ロータリーが45年以上継続している活動で、WHO、ユニセフ、ビルゲイツ財団も行っている世界的な活動となっている事をご理解いただきたいと思います。最後に青少年奉仕について、ローターアクト、インターアクトと信頼関係をつくり、次の時代を担う青少年のための奉仕活動の実施が、リーダーシップの育成や地域社会・世界平和への貢献に繋がり、強固な2500地区が生まれると考えています。

最後に、私の考えるロータリーについてお話しします。まずは、ロータリーの中から受けた恩恵を胸に今年のガバナー、そして今後のロータリアン人生を進んでいきたいと思います。その中で最も重要な事は、ロータリーの活動に

おいて感動すること、感動する心を広げておくことです。ベテラン、中堅、若い会員がそれぞれロータリーに対する情熱（パッション）をしっかりと持ち、このクラブが一番好きだというフレンドシップを持っていただくこと、そのためには私のスローガンが非常に重要かなと思います。私も北見の４クラブをしっかりと支え、それぞれのクラブが活性化して魅力あるクラブになることをご祈念申し上げ、私からの講演とさせていただきます。

乾　杯
小林会長

まず初めに、佐渡ガバナー、地区役員の皆さん、大変お疲れ様でございました。貴重なご講演ありがとうございます。そして、幹事会、会長会、意見交換会、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。本日参加できなかった会員の方には、例会を通じてお伝えしていただければと思います。７月から北見ロータリークラブの会長をさせていただいておりますが、ロータリーってどういう活動をしてるんですか？とよく聞かれます。私は自信を持って、職業奉仕を通じて会員の皆さんと親睦を行う団体ですと、強く伝えております。皆さんもロータリアンとして、ロータリーの活動を多く知らせていただければ、私が今年１年目標としている公共イメージのアップに繋がっていくと思っております。それでは、益々のご繁栄、健康には十分気をつけていただいて、地区大会まで乗り切っていただき、会員の皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げまして、乾杯に入らせていただきます。

大懇親会

「手に手
つないで」
斉　唱

会員の輪

いま、朝の通勤路の風物詩は、北斗高校伝統の「強行遠足」にむけたランニング授業だ。学校外周をグングン走る学生、一方、ゼイゼイと歩く学生がいたので尋ねた。「辛くてイヤ？」学生「帰宅部なので苦しい。だけど遠足で走りたかったので北斗高校を選びました」とまた走りはじめた。男子距離は昔71キロ⇒今56キロ。時代錯誤も甚だしい？と言われかねないド根性校訓のもと、成長する学生たちの勇姿をみるため、今年も本番当日に早起きするか逡巡する昭和ド真ん中のおじさんです…　（宮島　信夫）

出席報告

出席報告	例会日	会員総数	出席免除者数	出席者数	出席免除者の出席数	事前メークアップ	事後メークアップ	確定計算出席数	出　席　率
計　算　式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	C+E+F/(A−B)+D×100
本日	9／19	63	5	34	2	1	−	35	58.333%

【次回10月１日】

「Passion Talk」

2025～2026年度　北見R.C.活動方針

「クラブに革新を　笑顔で紡ぐ奉仕の輪」
～行動しようRotarianとして～

100パーセントの出席

毎回例会に出席することは、強くて活発なロータリー・クラブとなるために極めて重要です。多くのロータリアンは、自分のクラブの例会や、他のロータリー・クラブ例会でメークアップをするなどして、100パーセントの出席率を維持することを大いに誇りとしています。ロータリーの細則では、会員が全例会の60パーセントだけ出席すればよいという条件になっていますが、実際は、多くのクラブにおいてもっと多く出席することが奨励されています。

2025～2026年度　北見RC　●会長／小林　和真　●幹事／高橋　雄太　●週報編集／佐々木朋志